

第4回議会改革特別委員会会議録（要旨）

日 時	令和2年5月29日（金）午後1時30分～午後2時35分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 山田かずひこ 副委員長 山田けんたろう 委 員 石じまきよし 伊藤祐司 木村さゆり 富田えいじ
職務のため出席した者の職氏名	議 長 青山直道 事務局長 水野敬久 議事課長 福岡弘恵 議事係長 吉田菜穂子

1 あいさつ 議長

2 議題

(1) 議会広報・広聴について

（委員長） はじめに、本会議ライブ中継の近隣の市議会の状況について、副委員長から説明してもらう。

（副委員長） 尾張旭市議会と日進市議会と長久手市議会の本会議中継状況について説明する。尾張旭市議会と日進市議会は議会全日程のライブ中継と録画中継をしている。両市議会とも議場にマイクと連動した固定カメラが設置されていて、職員が操作している。設備がある前提ではあるが年間経費は長久手市議会の経費より抑えられている。また、録画配信について長久手市議会の現状は、ウィンドウズメディアプレーヤーをダウンロードしてパソコンでしか見れないが、尾張旭市議会と日進市議会は同じようなインターネット配信でもスマートフォン対応となっている。長久手市議会としてどのような方法が可能なのかを今後検討していきたい。

（事務局） 尾張旭市議会及び日進市議会と長久手市議会とは議場の広さや設備が異なる。例えば議場にカメラを設置するには天井や壁の強度等の確認が必要である。ウィンドウズメディアプレーヤーでの録画配信については設備と分けて検討していただく必要がある。

（委員長） ライブ中継についてはいろいろな設備（撮影方法）と配信方法があり、長久手市議会としてどのような方法がよいか意見を伺いたい。

（委員） 設備ありきではなく、広報広聴としていかに市民へ情報や活動を発信するか全体を考えて進める必要がある。議員活動の可視化にもつながる。

（委員） 撮影方法の一つとして、ホームビデオカメラを試してみるのはいかがでしょうか。

（委員） 設備は必要であるがじっくり検討し回答したい。

- (委員) 議会中継については、全議員が何が課題か集約できていない。現在、録画中継が一般質問のみであるが、今後、議論して委員会を含め本会議の全日程をライブ中継の方がよいということになれば設備等について進めればよいが、費用対効果などを含めて考えるとすぐにできないことが多い。まずは、別で議論する場、運営する場を設けたほうがよいと思う。広報広聴委員会の設置は前回の会議で意見が一致した。設備が必要かどうか、どのような形がよいかを含めてその場をつくり議論してもらわないといけないのではないかと。1年以内に全議員が議会中継の充実という意見で一致するのであれば設備の機種等を含めて議論すればよい。ただ、録画配信システム使用料の年間経費はスマートフォン対応である日進市議会の方が経費が抑えられている。予算のことはあるが契約の見直しをすればすぐにできることだと思う。議会中継については、議会改革特別委員会で検討するには時間がかかり、他の課題ができなくなるのではないかと思う。
- (委員長) 議会改革特別委員会である程度意見を集約して、広報広聴委員会で議論してもらいたいと考えている。費用対効果のこともあるため、近隣市議会のライブ中継がどれだけの視聴があるのかは調べる必要がある。
- (議長) 長久手市議会の一般質問の視聴は回数が報告されている。
- (委員) 議会基本条例の議会の責務からできる限り情報発信していかなければならない。視聴するしないにかかわらずやっていく必要がある。これまでは、新庁舎の建て替えに合わせて議場設備を整えるということであったが先になっってしまったため、限られた部分のみであるならユーチューブで配信という方法も考えられる。
- (委員) 十数年後の新庁舎の建て替えを想定して暫定的に最低限度の費用で今より質が高くなるよう進めていくことは必要ではないかと思う。
- (委員) 録画配信をスマホ対応にすることについては、今契約している業者と変更契約もしくは費用が高くなるのであれば他の業者に変えるなどで対応して進めていけばよいのではないかと。
- (事務局) 契約している業者でも契約変更すればスマホ対応は可能であるが、録画配信システムの月額費用等が上がると聞いている。
- (委員) 補正予算が必要であれば、それも考えていく必要がある。
- (事務局) 予算要望等の際に契約見直し等を含めて考えていきたい。
- (委員長) 次回、ライブ中継については会派からの意見を伺いたい。
- (委員長) 次に、広報広聴の常任委員会を設置するにあたり、委員会の所管について会派からの意見を伺いたい。
- (無会派)
- ・議会だよりの編集
 - ・SNSについて
 - ・ホームページについて
- (長久手グローバルネット)

次回、回答する。

- (公明党)
- ・議会だより
 - ・議会報告会の内容
 - ・フェイスブック
 - ・ホームページ

一度に取り組むのではなくまずフェイスブックを充実させる。

(改革ながくて)

- ・議会だよりの編集、発行に関すること
- ・Webサイト及びソーシャルメディアの企画運営に関すること
- ・議会報告会の企画運営に関すること
- ・市民アンケート調査の実施
- ・その他広報広聴に関すること

- (委員)
- ・議会だより
 - ・Webサイト及びソーシャルメディア関係
 - ・議会報告会
 - ・意見交換会
 - ・市民アンケート調査

(委員長) 委員会の所管については、会派から出た意見をまとめる。次回、設置の目的について意見を伺いたい。

(委員長) 次に、委員の定数、委員の選出方法、委員会設置の時期についての意見を伺いたい。

◎ 委員の定数について

(委員) 半数がよい。

(委員) 9人から10人くらいがよい。

(委員) 他議会の広報広聴委員会の定員は議員の半数から3分の1の議会が多かった。瀬戸市議会では広報広聴協議会として議員全員が広報部会、広聴部会として活動している。

◎ 委員の選出方法について

(委員) 会派制にすると負担が大きくなってしまうため、会派にとられない方がよい。

(委員) 選出方法についてはわからない。皆で考えていく。

◎ 設置時期について

(委員) 1年後の他の委員会の改選の時期がよい。

(委員長) 委員の定数は半数以上、選出方法は会派にとられない、設置の時期は1年後の他の委員会の改選時期という意見が多かった。会派へ持ち帰り次回意見を伺いたい。

(委員長) 市民アンケート調査について、予算計上が必要であるため、来年度実施す

るかどうか次回、会派の意見を伺いたい。前回のアンケート調査は、平成 26 年 2 月に市内在住の 20 歳以上男女 2,000 人を対象に実施した。議会ホームページに議会に関するアンケート調査報告書があるので内容を確認してほしい。

(委員) アンケート調査項目を考えてくるのか。

(委員長) アンケート調査項目も含めて考えてきてほしい。

(委員) 前はアンケート調査用紙等自分達で作成し集計もしてかなり大変であった。今できる効率的な方法で実施できるとよい。

(委員) QRコードを読み取り、インターネット上で回答する方法もある。費用はかからず回収も大変ではない。

(委員長) アンケート調査の方法についても考えてきてほしい。

(委員) アンケート調査は、ある程度前回と同じ形にしないと傾向はわからない。定期的実施する仕組みにする必要がある。前回のアンケートは議会基本条例制定のために実施している。条例を見直す前に実施または 2 年ごとに実施等、時期についても決めておくとよい。

(議長) 前回のアンケートは議会基本条例検討特別委員会で予算がない状況で実施した。予算計上するなら委託という方法もある。また、市が実施するアンケート調査があるなら一緒に実施するという方法も考えられる。

(委員長) 次回、来年度アンケート調査を実施するかどうか、実施するのであれば実施方法等について会派の意見を伺いたい。

3 その他

(委員長) 次回の議会改革特別委員会は 6 月 19 日午前 10 時からとする。

以上で議会改革特別委員会を終了する。